

5. 条件法 ② 「仮定文」とは？

※ 条件法の活用も直説法未来と同様、非常に規則的なので、覚えるのは簡単。

未来の変化語尾	条件法の変化語尾 (全動詞共通)
-rò	-rei ← vorrei を知っているので簡単。
-rai	-resti
-rà	-rebbe
-remo	-remmo
-rete	-reste
-ranno	-rebbero

- 条件法の本来の用法は、「**仮定文**」(事実に反する仮定を設けた上で、その結果を述べる文)の**結果節**に用いるというもの。
- 仮定文の仮定節 (Se ...,) の内容が事実である可能性はゼロから百パーセントまで考えられるが、ここではその**可能性がゼロ**であるような**狭義の仮定文のみ**を「**仮定文**」として扱うことにする。
- 「仮定文」の作り方：

【Se ... 接続法半過去】(仮定節) + 【条件法現在】(結果節)。

〔例文〕： Se io **fossi** in Gianna, **lascerei** subito quell'uomo.
もし俺がジャンナだったなら、あんな男とはすぐに別れるところだ。

未来の変化語尾	条件法の変化語尾 (全動詞共通)
<p>-rò</p> <p>-rai</p> <p>-rà</p> <p>-remo</p> <p>-rete</p> <p>-ranno</p>	<p>-rei ← vorrei 知っているので簡単。</p> <p>-resti</p> <p>-rebbe</p> <p>-remmo</p> <p>-reste</p> <p>-rebbero</p> <p>末尾の i を e に。</p> <p>未来との違いは m の二重化のみ。</p> <p>+ro</p>